



謹んで新年のご挨拶を申し上げます

昨年は、各地での研修会をはじめ、震災支援活動、おもちゃ図書館の立ち上げ支援、情報の提供など、たくさんのご協力を頂きましてありがとうございました。

昨年度より、新しく「TOYらいぶらりあん養成講座」も企画いたしました。今月東京にて初級・中級を開催予定です。すでに、九州地区研修会では初級を行いました。新しい企画ですので、皆様のご意見をお聞きして、さらにおもちゃ図書館活動が充実できるような内容にして参りたいと考えております。

震災支援活動は、毎月の南三陸町と福島県への活動を続けて参りました。共同募金や、そのほか皆様のご支援を頂いて続けておりますが、復興はなかなかで、厳しいものがあると感じております。細くても活動を続けていかれるように努力をして参ります。

さて、今年、2013年6月には第4回アジア会議を、全国連絡会30周年の記念事業として東京で開催いたします。ぜひご参加いただき、全国の仲間と、アジアの仲間とともにお祝いをし、研鑽を重ね、活動の充実と継続を誓いたいと考えております。

おもちゃの図書館全国連絡会も発足から30年。信念は変えず、方法は時代に合わせて、継続をしていく必要があると思います。そして本当におもちゃ図書館を必要とされている方の所に届いているのかを考えながら、日々活動を続けて参ります。今年も、おもちゃ図書館活動がスムーズに運びますよう、事務局一同、心を一つに努力して参ります。ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

平成25年1月



おもちゃの図書館全国連絡会

世話人代表 小泉 康代

事務局世話人一同



ITLAからの Happy New Year カード

ITLA (国際トイライブラリー協会) より、おもちゃの図書館全国連絡会に、新年のご挨拶が届きました。他、ペルー、フランス、インド、南アフリカからも頂きました。



☆山科直治記念レジャー活動支援金～活動報告～☆

おもちゃ図書館の運営充実と活性化を図るとともに、子どもの遊びが潤いのある豊かなものとなることを目的として、財団法人日本おもちゃ図書館財団の助成金により、この事業が実施されています。

◀東京スカイツリーへ行きました！▶

東京都板橋区：おもちゃ図書館あそびむし

肢体不自由のお子さん15名（車椅子13台）、親御さん、兄弟・姉妹さん、おじいちゃん・おばあちゃん、ボランティアさん、総勢55名で、すみだ水族館と東京スカイツリーに行ってきました。当日は生憎の雨模様。気温が低く、風も冷たく…。でも、連休初日で、かなりの混雑が予想されていた水族館は悪天候の影響で空いており、午前中は水族館を満喫することができました。



午後からスカイツリーに昇りました。展望デッキに到着するも、視界は真っ白。真下を覗くとかろうじて地上が見える状況でしたが、時間の経過とともに視界が開けていき、やがて太陽が顔を出し、虹が架かり、お子さんたちから歓声が上がりました。「東京タワーが見えたよ!」、「都庁が見えたよ!」大人も大興奮。晴れた日には見るできない幻想的な風景が広がりました。その後の夕日も夜景も、それはそれは素晴らしく、クリスマスバージョンのスカイツリーも満喫することができました。助成いただき、厚く御礼申し上げます。（おもちゃ図書館あそびむし 安達恵）

☆どうぞよろしく！新入会員の紹介☆

NO. 706 おもちゃ図書館トントン（大阪府富田林市）

地域の障がいをもつ子どもたちの健やかな心の発達を促すために、人とかわり、遊びの楽しさを仲間と共有することの大切さを考え、平成23年の10月に設立いたしました。定期活動は、とんだばやし発達サポートセンター内で毎月第1月曜日の午前中に開催しています。障がいの有無にかかわらず、一人遊びばかりで集団の遊びに参加できない、お友だちと遊びたいけれどもうまく仲間に入れない、遊びのルールがわからずトラブルになってしまい仲間に入れてもらえない、遊びを継続できないのでどんなおもちゃなら興味をもつのかなど、遊びに関する保護者の悩みを保健師、保育士資格をもつスタッフが子どもと一緒に遊びながらアドバイスし、気軽に相談ができる場を提供しております。その他、地域の子育て支援活動へおもちゃの貸し出しも行っています。

（おもちゃ図書館トントン 北野和代）



NO. 707 大田おもちゃライブラリーじゃりかふえ（東京都大田区）

去年の1月7日にオープンしてはや1年が経ちました。この一年間で、ぬいぐるみ作りや夏祭り、クリスマスリースの作成など、様々なイベントを行い、地域の小学生、未就学のお子さん達に参加して頂いています。これらのイベントを通じて、様々な地域の方や、近隣の小学校、幼稚園との関わりも持てるようになりました。普段の活動日は、小学生の利用が多く、元気に地域の小学生の子供達が遊びに来ています。それぞれ思い思いのおもちゃを出してきて、少人数でまとまって遊んだり、静かに本を読んだり、思い思いの放課後の時間を楽しんでいるようです。また、障害のある子供達の利用もあり、自然と関わりを持っています。今年も楽しく賑やかに過ごせたらと思います。（おもちゃ図書館じゃりかふえ 今山洋子）



1 支援金・助成金の報告

* 皆様からの緊急支援金 1月21日現在 254件 3,574,986円
(このうち24年度分 20件 257,801円)
* 共同募金会から 3,000,000円の助成金



2 活動報告

☆福島市での移動おもちゃ図書館

12月12日(水) AM さくらんぼ保育園・子育て支援センター
PM 福島県立聾学校福島分校

12月14日(金) 福島県立盲学校 小学部お楽しみ会にて音楽会



さくらんぼ保育園・子育て支援センター



聾学校での手話付紙芝居「どんぐりと山猫」



盲学校でのお楽しみ会 みんな音楽が大好き

【福島県立聾学校福島分校 鹿目教頭先生よりメッセージをいただきました】

「トイポスト111号に寄せて」

福島県立聾学校福島分校 教頭 鹿目敦子

福島県立聾学校福島分校では、一昨年12月から、移動図書館を開いていただいています。毎回実施する手話付きの紙芝居では、「おはなし」との魅力的な出会いがあり、子どもたちは目をキラキラと輝かせ夢中で聞いています。おもちゃの図書館の皆さんは、たくさんのおもちゃの中で、いつも笑顔で一緒に遊びを楽しんでくださっています。子どもたちは、その温かな見守りの中で安心して楽しみ、相手を思いやる心を育てているように思います。

「続けていただいたおかげで、息子の成長が見え、うれしいです。」というお母さんの笑顔や、お気に入りのおもちゃで遊びを広げていくアイデアいっぱいの子どもの姿等、素敵なエピソードがいっぱい生まれ、ボランティアの皆さんとの絆が深まっています。毎回、子どもばかりでなく大人にも、心温まるひとときを届けていただき、ありがとうございます。

3 今後の活動について

☆1月27日(日) 南三陸町福興市参加 2月、3月も参加予定

☆1月30日(水) いわき市福島県立聾学校平分校 ☆2月13日(水) 福島市にて移動おもちゃ図書館

お願い



おもちゃの図書館全国連絡会では、皆様からの震災支援金を引き続き募集しています。宮城県、福島県での継続した活動にむけ、まだまだ活動資金が必要です。つきましては、当活動へのご支援をいただきたくお願い申し上げます。

【震災支援金の口座】

三菱東京UFJ銀行 築地支店
(口座番号) 0077735
(口座名)
おもちゃの図書館全国連絡会
代表 小泉康代 災害支援口

《東日本大震災緊急支援金をいただきました》 順不同・敬称略

2013年1月21日現在

東京都要約筆記サークル連絡会 足立梨恵 小泉康代

《震災支援用として、手作りおもちゃを寄贈していただきました》 順不同・敬称略

小松おもちゃ図書館サン・アビ 常陸太田市おもちゃ図書館あそぼ 佐倉おもちゃ図書館



「おもちゃの図書館全国連絡会設立30周年記念第4回おもちゃの図書館アジア会議」

皆様是非ご参加ください。アジアの仲間たちと楽しく、親しく交流をしましょう！！

テーマ： あそびは生きる力 Play・Empowerment・Life

会議日程：平成25年6月13日（木）～15日（土）

会場： 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加費：3日間通し10,000円（おもちゃの図書館全国連絡会 会員 9,000円）

6月13日 講演・カントリーレポート 1,500円 ウェルカムディナー 5,000円

6月14日 スタディツアー 3,500円

6月15日 ワールド・プレイ・デイ（無料） 誰でも参加できます！

※情報はおもちゃの図書館全国連絡会HPにも随時アップいたします。

【問い合わせ先】 第4回おもちゃの図書館アジア会議実行委員会 担当：増田
電話 03-3272-0072 E-mail renrakukai@toylib.or.jp



おめでとうございます！

☆緑綬褒章

福岡おもちゃ図書館ぼけっと 福岡県

☆ボランティア功労者厚生労働大臣表彰

大治おもちゃ図書館ゆめあゆみ 愛知県



新入会員のご紹介

《No. 716》大阪府 てんのうじおもちゃ図書館

《No. 717》愛知県 おもちゃ図書館むすび



【お詫びと訂正】

トイポスト110号・P7において「木谷宜弘先生」のお名前の漢字が間違っていました。深くお詫びし、訂正させていただきます。

《ありがとうございます》

☆賛助会費をいただきました（敬称略・順不同）

神崎真理子 青塚和子 武田美和子 広瀬喜久枝 村形聡 谷津嘉章 成田道子 野村祥子 清水基弘
高嶋恵美 岡崎優子 高橋健治 川上昭子 森敏江 隅田ひとみ 下諏訪町おもちゃ図書館
おもちゃ図書館すきっぷ 横浜おもちゃ箱 近江八幡おもちゃ図書館「宙」 函南おもちゃ図書館
八千代おもちゃの図書館「あひる」 中土幌児童ステーションおもちゃ図書館「ばんぶきん」
大東おもちゃ図書館のびのび 町田おもちゃの図書館 町田移動おもちゃの図書館
堺おもちゃ図書館ぽっぽ おもちゃ図書館いとっ子 仙台楽生園 西都おもちゃライブラリー
なかまおもちゃライブラリーポッポ あしかがおもちゃ図書館 昭和区おもちゃライブラリーポッポ
なかよしクラブおもちゃ図書館 よどがわおもちゃ図書館ろばの子 氷見市障害者福祉センター
おもちゃの図書館ぱんだ おもちゃの家でんでんむし

☆日本出版販売(株)様より今年も「日版よい本いっぱい文庫」としてたくさんの書籍をいただきました

※アンケートに基づき各地のおもちゃ図書館へ送らせていただきました

＜編集後記＞

この号の発行直前に、関東に雪（といっても最高10センチほどですが）が積りました。毎年1～2回あるとはいえ、日ごろ積雪になじみがないためそのたびに大混乱。雪国のみなさんの雪かきや雪下ろしのご苦労を思うとお恥ずかしい限りです…。

先日、赤崎さんという方が2年前に大学の卒業制作で自閉症の妹さんの日常を撮った「ちづる」という映画を見ました。きょうだいの気持ち、母の思い、その母への息子の思い…挨拶で赤崎監督は「友人たちに見せたいと思って撮りましたが、今は全国の皆さんに、特に子どもたちに見てほしいと願っています。母は、映画は恥ずかしいけどずっと書いてきたブログをまとめた本の方は読んでほしいと言っています。」とおっしゃっていました。子を持つ母の立場としてはありのままを映画にすることを許したお母さんにも敬意を表します。

全国からの、活動の報告やさまざまなご支援、いつもありがとうございます。寒さの折、皆さんどうぞ体調には充分お気をつけ下さい。
(岸・安達・藤井・隅田)